

令和 8 年度

学校評価 計画書

津幡町立英田小学校

〔学校教育目標〕『進取・敬愛・剛健』の精神を基調とし、「自ら学び・心豊かで・たくましい児童の育成」をめざす

90%以上：A、89.9～80%：B、79.9～70%：C、69.9%以下：D

重点 目標	具体的取組 ※経営計画の重点との関連	担当	評価と観点・評価対象	実現状況の達成度 判断基準	判定基準	備考
1 授業力向上と学力の 定着	① 町 2 (1)－① 教科等の資質・能力の育成に向けた児童主体の授業づくり	学習指導部	【成果指標】 〔教師アンケート〕 ・資質・能力を育成するために ①ミカタカードを活用して、数学的な見方・考え方を働かせる授業を行うことができた。 ②事前につまづきを想定し、それに対する手立てをとることができた。	① A:該当するどの授業でもできた B: 8 割の授業でできた C: 6 割の授業でできた D: 6 割の授業より少ない ② A:該当するどの授業でもできた B: 8 割の授業でできた C: 6 割の授業でできた D: 6 割の授業より少ない	A+B	・できていない 職員には、他のクラスの授業を参観する機会を設ける。
	② (1)－② 学習規律・学び方の確立		【努力指標】 〔教師アンケート〕 ・安全・安心な風土の中で児童主体の授業を行うために、「学習のルール」が身につくように指導することができた。 【満足度指標】 〔児童アンケート〕 「学習のルール」が身についている。	A:できた B:まあまあできた C:あまりできなかった D:できなかった A:身についている B:ほぼ身についている C:あまり身についていない D:ほとんど身についていない	A+B	・できていない場合は、教師アンケートの回数を増やして意識を高める。
	③ 町 3 (1)－④ 小・中の一貫した指導を見据えた、外国語教育の推進		【努力指標】 〔教師アンケート〕 ・CAN-DOリストをもとに、単元における目標を明確にし、児童が見通しをもって学習できるように指導することができた。 【満足度指標】 〔児童アンケート〕 ・何ができるようになっていけばよいのかが分かり、それにむかって学習することができた。	A:できた B:まあまあできた C:あまりできなかった D:できなかった A:できた B:まあまあできた C:あまりできなかった D:できなかった	A+B	・単元の始まりで、CAN-DOリストを確認する。

重点 目標	具体的取組 ※経営計画の重点との関 連		担当	評価と観点・評価対象	実現状況の達成度 判断基準	判定基準	備考
2 豊かで健やかな心身の育成	④	(2)－① 児童理解に基づく 個に応じた特別支 援教育の充実	生徒指導部	【努力指標】 〔教師アンケート〕 ・個別の支援が必要な児童に対し、保 護者や地域支援室等と連携し、共通理 解を図りながら全職員で対応してい る。	A:できている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない	A+B	・支援の方法や役割分担を明確 にし、児童理解の会や終礼等で 共通理解を図っていく
	⑤	(2)－② 自己肯定感・自己 有用感を高める人 間関係づくりの推 進		【満足度指標】 〔児童アンケート〕 ・友達を傷つけることを言ったりし たりせず、やさしい言葉遣いを心がけ、 思いやりのある行動をとっている。 〔保護者アンケート〕 ・わが子は、友達を傷つける言動をと ることがなく、思いやりのある行動を とっている。	A:できている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない A:できている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない	A+B 児童アン ケート・教 師アンケ ートの二 者評価で 総合的に 判定す る。	・普段から「いいねカード」の 取組を行い、互いの良さを全校 放送等で広めていく。その中 で、やさしい言葉遣いや心が け・思いやりのある行動につい て紹介する。
	⑥	(2)－③ いじめの未然防止 と早期発見、迅 速・組織的な取組 の確立		【努力指標】 〔教師アンケート〕 ・ソーシャルスキルトレーニングを通 して、人間関係の構築に必要なスキル が身につくように指導することができ た。	A:できた B:まあまあできた C:あまりできなかった D:できなかった	A+B	・参考図書の活用 ・全校集会などの場で、ソー シャルスキルトレーニングの目 的や方法を紹介する。
		⑥		【努力指標】 〔児童アンケート〕 ・いじめは、どんなことがあってもし てはいけないと思っている。 〔教師アンケート〕 ・アンケートや個人面談等から、いじ め等の実態を探り、全ての事案につい て、迅速・組織的に対応している。	A:絶対いけない B:いけないと思う C:あまりいけないと思わない D:いけないとは思わない A:できている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない	A+B 児童アン ケート・教 師アンケ ートの二 者評価で 総合的に 判定す る。 児童アン ケートは、 100%以上を めざす。	・児童アンケート及びいじめ調 査を実施し、実態を把握する。
	⑦	(2)－④ めざす姿の共有と 規範意識、自己指 導能力の向上		【努力指標】 〔教師アンケート〕 ・生活目標を通して具体的な姿を児童 と共有し、工夫しながら指導してい る。	A: 9割以上の児童が達成している B: 8割以上～9割未満の児童 C: 7割以上～8割未満の児童 D: 7割未満の児童	A+B	・毎月各クラスの具体的な姿を 掲示することで意識の継続を図 る。 ・達成度を振り返り、児童への 意識化を図る。

重点 目標	具体的取組 ※経営計画の重点との関 連		担当	評価と観点・評価対象	実現状況の達成度 判断基準	判定基準	備考
2 豊 か で 健 や か な 心 身 の 育 成	⑧	(2)－⑤ 児童の主体性・表 現力を高める活 動、児童発信型 の取組の推進	特 別 活 動 部	【努力指標】 〔教師アンケート〕 ・ふれあいグループ活動において、児 童がめあてを意識して活動できるよう に指導している。	A:できている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない	A+B	・担任が学級で事前指導を行う ことができるよう、職員会議や 終礼で周知する。
	⑨	(2)－⑥ 体力の向上・健康 の保持増進	健 康 安 全 指 導 部	【満足度指標】 〔児童アンケート〕 ・体を動かすことが楽しいと感じてい る。	A:あてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない	A+B	・児童会によるイベント等、児 童が楽しく参加できる企画を 行っていく。
3 家 庭 ・ 地 域 と 共 に あ る 学 校	⑩	(3)－① 関係機関と連携し た、信頼される安 全・安心な学校づ くりと危機管理体制 の確立	健 康 安 全 指 導 部	【努力指標】 〔教師アンケート〕 ・災害等での危機管理について児童に 適切に指導し、訓練時には学校として の共通行動が取れている。	A:できている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない	A+B	・各学級で行う指導について、 全校もれなく行うために、内容 と実施期間をそろえる
	⑪	(3)－② 生活習慣定着に向 けた家庭との連携 強化	生 徒 指 導 部	【成果指標】 〔保護者アンケート〕 ①わが子は、基本的な生活習慣（早寝・ 早起き・朝ごはん）が身についてい る。 ②家庭では、ゲームやテレビなどの使 い方のルールを作り、守るようにして いる。	A:できている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない	A+B 2つの項目 で総合的に 判定する。	・年4回メディアに関する取組 を実施する。
	⑫	(3)－③ 学習習慣の定着に 向けた家庭との連 携強化	学 習 指 導 部	【成果指標】 〔児童アンケート〕 ・宿題を含めて家庭学習を一日あた り、10分×学年程度している。 〔保護者アンケート〕 ・わが子は、宿題を含めて家庭学習を 一日あたり、10分×学年程度してい る。	A:できている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない A:できている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない	A+B 児童アン ケート・保 護者アン ケートの二 者評価で総 合的に判定 する。	・家庭学習チェック表で、時間 等を把握する。 ・テトルを活用し、家庭学習の 取り組み方のアンケートをとつ たり、よい取組を広めたりして いく。

重点 目標	具体的取組 ※経営計画の重点との関 連		担当	評価と観点・評価対象	実現状況の達成度 判断基準	判定基準	備考
4 組織的な学校運営	⑬	授業時数の適切な 管理と実施	運営 委員 会	【努力指標】 〔教師アンケート〕 ・月末の規計との差を意識し、調整 しながら授業を実施することができ た。	A:できている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない	A+B	・月末に規計との差を示すこと で、翌月に意識しながら回復に 努めることができるようにす る。
	⑭ 町 1	(4)－② 教職員の働き方改 革のための効果 的・効率的な業務 改善		【努力指標】 〔教師アンケート〕 ・子どもと向き合う時間や教材研究す る時間を確保するよう努めた。	A:できている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない	A+B	・会議や業務内容を見直し、学 校全体で業務を分担したり、教 材や指導法を共有したりするこ とで、子どもと向き合う時間や 教材研究の時間を確保する。
	⑮ 町 4	(4)－⑤ G I G Aスクール 構想実現に向けた 取組や校内研修の 推進	G I G 学 A 習 推 指 進 導 リ 部 ・ ダ ー	【努力指標】 〔教師アンケート〕 ・ICTを効果的に活用した授業実践を 共有することができた。 〔児童アンケート〕 ・1人1台端末を使って、自分の考え をもったり、新しい考えを見つけたり できた。	A:できた B:ほぼできた C:あまりできていない D:ほとんどできていない A:できている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない	A+B	・校内研修だけでなく、終礼や 学年会等の短時間においても、 各自が実践したICTツールや有効 な指導法を積極的に共有し、学 年・校種全体での活用スキルの 向上を図る。